

すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画でさだめたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和8年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

◆開催日時及び参加者

日時	令和7年7月14日（月） 午前10時00分～
場所	江南市役所 2階 第2委員会室
参加者	江南商工会議所役員等（6名）

プログラム

1	はじめに	5分
2	すいとぴあ江南の今後について	10分
3	座談会	40分

◆すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考え方などを説明しました。

【今後の検討における市の考え方】

○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足によりすべての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校、保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し多くの人に親しまれる場所にしたい。

◆座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・すいとぴあ江南の将来
 - ・多くの人に親しまれる場所
 - ・シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭に置いていただきながら、面積3haある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能について、ご意見を伺いました。

○座談会の様子



○意見（抜粋）

○宿泊施設について

- ・近隣の市でビジネスホテルが無いのは、江南市のみと思う。
また、10万人の市民が住む江南市で唯一の宿泊施設であることから必要な施設。
- ・地方で賑わいを生んでいるホテルの事業者とタイアップできると集客力の向上につながると思う。

○賑わいの創出について

- ・周りにないような環境を整えないと人は呼べないと思う。例えば24時間使える広場やステージなどは需要があると思う。
ソフトの面でも、条件を整えれば、集客が見込めるのではないか。
- ・自然環境も良い場所。バーベキュー場など人が集まる施設として整備してはどうか。

○その他

- ・できるのであれば、建物を今そのまま存続させ、維持費が捻出できるような施設に生まれ変わってほしい。
- ・施設を維持するために、大浴場は廃止して違うものにするといった選択肢もあるのではないか。
- ・市の説明資料では、すいとぴあ江南は行政関与の必要性が低く、維持更新が難しい施設として位置づけているが、賑わい創出の施設の一つとして、行政関与の必要性が低いというのは少し違うのではないか。

◆まとめ

商工会議所の役員の方々から意見を伺いましたが、市内唯一の宿泊施設ということもあり、存続を望む意見が多くありました。

今後については、賑わいの拠点、多くの人に利用される施設するために、これまでのやり方ではなく、例えば、地方でも成功しているホテル事業者とタイアップした宿泊や、24時間使える広場など近隣にはない環境を整えるなどの、意見をいただきました。

今後の検討においても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんの意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。